## 御幸山公園再整備に係るこれまでの経緯

いわき市策定 令和3年5月 常磐地区市街地再生整備基本方針

今後目指すべき市街地再生の目標や方針に関する 基本的な考え方をとりまとめ

> いわき市策定 令和 4 年10月 常磐地区市街地再生整備基本計画

基本方針をもとに、市街地の再生に向けた 「9つの取組み」を位置付け

いわき湯本温泉ブランド化作戦会議制作 令和5年4月 新・いわき湯本温泉まちづくりビジョンブック

温泉観光地としてのまちのあり方、まちをデザインする考え方に ついて多くの分野に跨る専門家と地域の皆さんが中心となって作成

個々の事業化に係る調査・事業計画等の作成

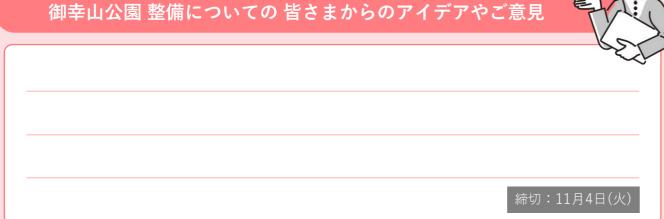
#### 9つの取り組み

- ①交流拠点施設·駐車場整備事業
- ②湯本駅前街区再編・駅前交通広場整備事業
- ③市営住宅天王崎団地跡地利活用事業
- ④公的不動産利活用事業
- ⑤湯本駅前緑地•御幸山公園整備事業
- ⑥にぎわい再生事業
- (7)観光地域づくり事業



- ⑧滞留拠点整備事業
- 9魅力ある街並み空間整備事業

ワークショップにご参加できなくても、 皆さまの声をぜひお届けください。



ご氏名

ご住所

電話番号

□ 地域住民

- □ 観光関係者
- ※上記ご記入のうえ、いわき市常磐支所に設置してある「御幸山公園再整備に係るご意 見箱」にご投函いただくか、封筒に入れて下記担当課にご郵送ください。 (ご郵送に係る費用は、いわき市では負担いたしません、ご了承ください)
- ※右のQRコードまたはURLからも、アイデアやご意見を受け付けています。 https://logoform.jp/form/NczP/1253909



お問い合わせ 郵送先

いわき市 都市建設部 公園緑地課

〒970-8686 いわき市平字梅本21 TEL:0246-22-7518

# 御幸山公園再整備計画を進めるための

# 「住民参加型ワークショップ」開催と募集のお知らせ

この資料は、御幸山公園周辺にお住まいの皆様、または、周辺で事業を営まれ ている皆様へお配りしています。

### 再整備の目的

- ・常磐地区は、震災以降、観光入込客数の減少や、空き地・空き店舗の増加により、まちの 活気や賑わいが以前よりも失われている傾向にあることが危惧されています。
- ・このため市では、地区の関係団体との協働により令和4年10月に、市街地再生に向けた全 体計画である「常磐地区市街地再生整備基本計画」を策定しました。
- ・ 今回の事業では、基本計画に位置付けられた 9 つの取り組みのひとつである「御幸山公園 整備事業」について、広く住民の皆さまからアイデアを募るワークショップを行います。
- ・その後、技術的な課題や費用を検討するなどの具体的な計画を進め、温泉観光地の玄関口 として、来訪者の心をつかむシンボル性の高い空間として整備を行い、イベント開催など 魅力ある敷地活用につなげることで、まちなかの集客性や

## 【ワークショップの対象】

地域住民

公園周辺の皆様 横町/吹谷/御幸町/新道/天王崎/栄田

回遊性を高めていくことを目的としています。

若年層

湯本一小(高学年生) 湯本一中、いわき湯本高校 観光関係者

いわき湯本温泉観光協会など

市民活動団体

じょうばん街工房21 御幸山公園を愛する会など

## ワークショップに参加を希望される方は、以下からお申込みください

#### 地域住民

公園周辺の皆様

① 11月11日(火) 9:00~12:00(約3時間)

②11月11日(火)13:00~16:00(約3時間)

③ 11月15日(土) 13:00~16:00 (約3時間)

会場

湯本温泉旅館協同組合2F

各先着 30人

締切 11月4日(火)

【ご参加条件】横町/吹谷/御幸町/新道/天王崎/栄田 にお住まいの皆様、 または周辺で事業を営まれている皆様

#### 予約フォームからお申込み



お問い合わせ

郵送先

催

ORコードを読み込むか、 URLから必要事項をご入力し、 お申込みください。



## 郵便ハガキでお申込み



必要事項(氏名、住所、電話 番号、参加希望日)をご記入 のうえ、下記郵送先に、ご郵 送ください。

https://logoform.jp/form/NczP/1253633

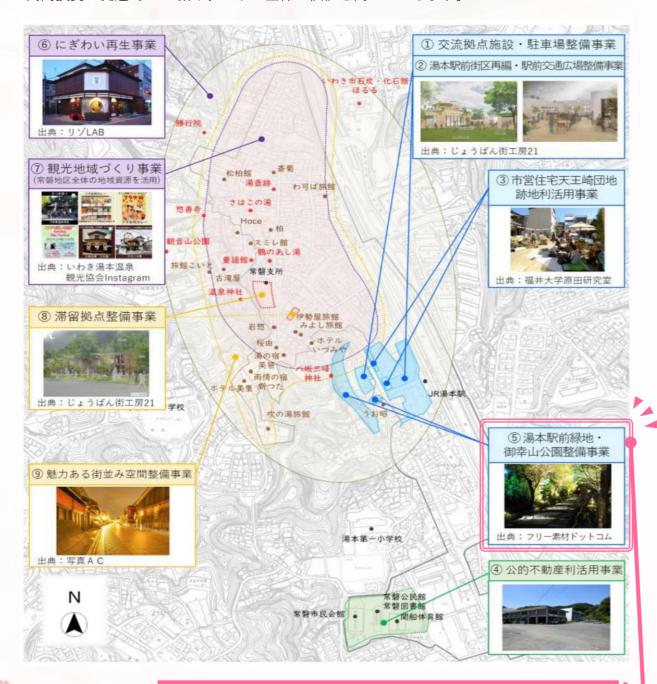


いわき市 都市建設部 公園緑地課

〒970-8686 いわき市平字梅本21 TEL:0246-22-7518

## まちの再生に向けた取り組みの全体図

令和4年10月に策定された「**常磐地区市街地再生整備基本計画**」では、**5つの方針に基づく** 「9つの取り組み」が定められました。この再整備では「9つの取り組み」を推進し、民 間と公共の空間における一体的な魅力の創出により、まちなかでの来訪者の増加や新たな 民間投資の促進などに繋げ、エリア全体の価値を高めていきます。



## 湯本駅前緑地・御幸山公園整備事業

「9つの取り組み」のうち、5つめの「湯本駅前緑地・御幸山公園整備 事業」では、湯本駅前の公共空間である湯本駅前緑地および御幸山公 園について、交流拠点との連続性を意識しながら、温泉観光地の玄関 口として、シンボル性の高い魅力ある空間を整備します。

# 御幸山公園 整備の方向性

温泉観光地の玄関口として、来園者の心をつかむシンボル性の高い空間として 整備を行い、イベント開催など魅力ある敷地活用につなげることで、まちなか の集客性や回遊性を高めます。



本ワークショップを通して、皆様の意見を集め、整備内容を検討していきます。 現状を踏まえ、以下にあげる5つの内容について、検討していくことが必要と 考えます。

検 討

の

内

緑地空間

回遊性のある 駅前に整備予定である交流拠点施設との連携し、湯本のま ちなかの回遊性が高まる空間を目指す。

憩いの空間 の創出

湯本駅周辺の街並みを臨む眺望性を高めるとともに、誰も が交流できる憩いの空間を目指す。

湯本らしさを 表現する景観 温泉を感じる・際立たせる景観とするとともに、ユニバー サルデザインも配慮することで、誰でも湯本を感じること ができる景観を目指す。

シンボル

駅正面に臨む 湯本のエントランス機能を高め、温泉観光地の玄関口とし て、来訪者の心をつかむシンボル性の高い空間を目指す。

安全で魅力ある 来園者や地域住民が安心・安全に利用でき、湯本らしい景 観など魅力のある公園を目指す。

回 対 な る

